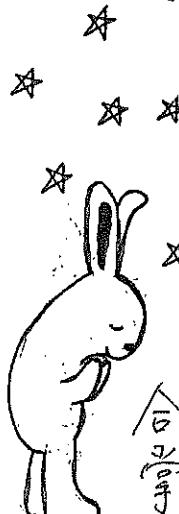




毎日暑い日が続いておりますが、お元気でお過ごですか？ 今年の梅雨入りは六月十四日、梅雨明けは六月二十八日でした。明けた頃の日差しはジリジリと厳しく、月のお盆月になつたらどれほどの暑さになるのだろうかと恐怖を感じました。それより心配だったのは水不足。

昨年の梅雨は二ヶ月程、平年は六月初旬から夏休みが始まる頃。それに比べて今年は二週間程とあまりにも短い梅雨に困んばせ畑は大丈夫だろうかと少し伸びた稻たちを眺めながらヒヤヒヤしていました。七月に入り少し降水量も増えたようです。これで妙光の黒く汚れた車も洗えそうです。雨も日射しも風も少なくて困る多すぎても困る。ちょうどいい位、必要な分だけご充分。電気も水も食料も衣服なども生きる為に必要な分だけご充分なはず。

お釈迦様がおしゃれでいる「少欲知足」（欲を少なく満足する事を知る）法華經普賢菩薩勸発品第二十八）のじが大切であることをしみじみ感じている妙光です。



## 正福寺ホームページ お知らせ！

正福寺、倉敷などごインターネット検索をしていくと正福寺、正福寺と出てくるのがこのお寺です。ぜひ一度のぞいて見て下さい。

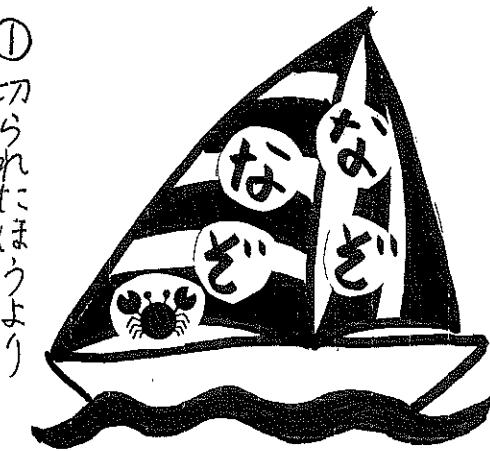
妙光

答えは裏です

④ もち上げると奴が切ったほうが泣いちゅうものなんだと？

⑤ いちごの甘さで5段階あります。何から何までどうか？

（などQ. COOLより）



## 阳だまり法話

私たちが生きている世界は娑婆世界、阿弥陀仏が治めてる世界は極楽浄土です。娑婆世界から極楽浄土まではどれくらいの距離があるのでしょうか？光の速さで、光が一年間で進む距離を一光年とすると、極楽浄土まで、十京光年（ $100 \times 10^6 \times 10^6 \times 10^6 \times 10^6$  光年）、つまり、一億年の十億倍かかることになります。銀河系は直径十万光年なので、銀河系を飛び出し、遙か彼方にあります。阿弥陀仏様にお会いするのはなかなか難しそうです。では、私たちが生きている娑婆世界はどうのような仏様が治めておられるのでしょうか。それは、永遠のいのちをお持ちであるお釈迦さまです。お釈迦さまは、「自分が治めておられる世界に生きてる生き、とし生けるもの」となら何でもお見通し。私たちがどのような心を持ち、どのような思いで生き、どのようなことをしてたか、又は、しようとしないのか。そして、ひとつひとつ感じ、その人にぴったりの方法と教えて仏になれるように導いてくださっています。この世に生きるひとは、苦しい事、辛い事、悲しいことが必ず付いてきます。しかし、それは必ず乗り越えることができる。なぜなら、お釈迦さまがお与えくださっているものだからです。乗り越える過程、乗り越えた後に大切なことを気づか、学ぶことができるように導いてくださっているのです。この世界をお守りくださっているお釈迦さまが説かれた教えを常口頃から学び、実践する」とは、この世で起る様々な試練を乗り越えるための心のエネルギーとなります。

○右記のお話は左記の「妙法蓮華經 薬草喻品第五」からのお話でした

「於一切法 以智方便 而演說之 其所說法 皆悉到於一切智地 如來觀知 一切諸法之所歸趣亦知一切衆生 深心所行 通達無礙

書き下し文 一切の法において智の方便を以てこれを演説す その所説の法は即ち「一切智地に至り

しむ 如来は一切諸法の帰趣する所を観知しまた一切衆生の深心の所行を知つて通達無碍なり

なぞなぞ金

①玉ねぎ ②モンブラン ③ゴーボ ④オケ ⑤一から五まで